

いてふ

一般財団法人 防府消化器病センター

防府胃腸病院

防府胃腸病院 広報誌

2018年6月 第14号



受動喫煙対策

一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院長 三浦 修

原発性肺がん発症の最大の危険因子はたばこ煙の暴露です。喫煙はもちろん受動喫煙も肺癌発症の要因であり、とくに喫煙開始年齢が早いほど肺癌死亡率が高くなるとされています。また、慢性閉塞性肺疾患（COPD）や食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がんなどの消化器がん、膀胱がんなど多くのがんは喫煙が罹患リスクを高めます。さらに、妊婦の喫煙は流産、早産の危険性を高め、また胎児の発育にも大きな影響を与えます。

2017年のWHOの調査では、世界186か国の中で、公衆の集まる場所すべて(8種類)に屋内全面禁煙義務の法律があるのは55か国であり、残念ながら日本の現状は世界最低レベルの分類となっています。

本年3月の閣議決定で、健康増進法の一部を改正する法律が制定され、「望まない受動喫煙をなくす」、「受動喫煙により健康影響が大きい子ども、患者等に特に配慮」、「施設の類型・場所ごとに対策を実施」など3点の基本的な考え方と、国や地方公共団体の責務が示されました。学校、病院、児童福祉施設、行政機関などは、原則敷地内禁煙であり、上記以外の多数の者が利用する施設、旅客運送事業船舶・鉄道などは原則屋内禁煙と定められました。

しかし、経過措置の文言を見るとまさに策法とも呼べそうな内容です。既存の特定飲食提供施設（個人または中小企業で客室面積が100㎡以下の飲食店）は、別に法律で決める日までの経過措置として、標識を提示すれば喫煙可とするなど、「望まない喫煙をなくす」ことや、「子どもへの配慮」など基本的な考え方から逸脱していると言わざるを得ません。もちろん、中小の飲食店への経営的な配慮は十分理解出来ませんが、将来への健康被害防止を優先するのであれば、2020年東京オリンピックまでになどと言わずに、即刻法的規制を徹底すべきではないでしょうか。



消化器内科部長 藤原 純子 医師 着任挨拶

<自己紹介>

6月1日より消化器内科部長を拝命し着任いたしました。平成8年に大学を卒業し、8年間四国の高知で、それ以降は東京で内視鏡診療を中心に行っていました。特に前任地の都立駒込病院では年間100例を超える食道表在癌症例をはじめとして、主に早期の胃癌、大腸癌に対してその診断と治療を行ってきました。防府胃腸病院では最新の内視鏡設備が整っており、消化管癌の早期診断に努めていくことにより地域の患者さんに貢献していけるのではないかと思います。外科の先生方のようにオールラウンドな診療ができるわけではありませんが、そのような立場で役割が担っていければと思っていますので、皆様のお仲間のひとりに加えていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



<食道癌の内視鏡治療>

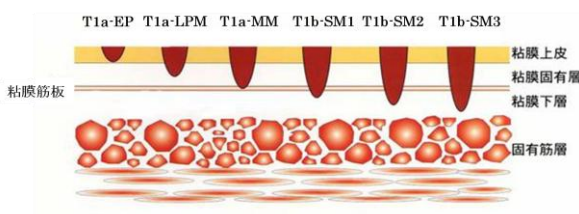
食道癌はアルコール多飲の中老年男性に好発する疾患です。胃癌の1/7の疾病頻度とされており遭遇するケースは比較的少ないですが、胃癌、大腸癌と比較するとリンパ節転移が始まる時期が早く、進行してから発見された場合には治療に難渋するケースが多いのも事実です。できるだけ早く発見し、低侵襲な治療を選択することが患者さんの予後、QOLを考える上で重要です。

食道癌は、粘膜内にとどまる病変を早期癌、粘膜下層までにとどまる病変を表在癌といいます。これまでの診療実績から、病変の深さごとに転移の率が明らかになっており、その深さによって、食道温存が可能か否かを判断し、治療方針を決定します。リンパ節転移がほとんどない時期のT1a-EP~LPM癌においては、内視鏡治療(Endoscopic submucosal dissection ;ESD)の良い適応です。T1a-MMあるいはT1b-SM1癌ではリンパ節転移の頻度は10-20%で、この深さの癌ではCTなどで明らかな転移が認められない場合は診断的にESDを行い切除検体の病理組織結果を確認し、手術や放射線治療の適応を決めることも可能です。T1b-SM2~SM3の病変では、リンパ節転移は40%以上にみられるため、ESD単独での治療はおすすめできません。

これらの基本的な治療方針は、日本食道学会の食道癌診断・治療ガイドラインに示されており、この方針に従って集学的な治療を行うことが可能です。内視鏡で切除可能な病変の大きさに制限はなく大型病変であってもESDの選択が可能です。食道は管腔が狭く広範に切除すると治療後に食道狭窄をきたしやすいため、広範な切除を要する場合はステロイド局注療法を行います。狭窄予防を計画的に行っておくことで、亜全周切除となるようなケースでも、狭窄をきたすことなく良好な成績が得られています。また、部位的に治療が困難な食道入口部の症例や、放射線治療後の遺残症例などに対しても積極的に治療を行ってきましたので、様々なケースにご対応させていただけると考えています。

消化器内科部長 藤原 純子

食道壁の構造と癌の深達度



食道 ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術) の実際

ナイフを用いて病変を切り取る方法です。大きな病変でも一括切除が可能です。



検体径 41×33mm 大, 病変径 32×27mm 大

お世話になりました

この6月に防府消化器病センターを去ることになりました。経験の浅い身ではありますが、三浦院長を始め多くの先生、スタッフのご指導の下、診療に携わらせていただきました。丁寧で確実な、そして患者さんに寄り添った診療を、特に内視鏡検査はできるだけ苦痛のないよう取り組んでまいりました。皆様方、至らない点は多数あったかと存じますがご容赦ください。防府に来て2年3か月、多くの方との出会いや別れがありました。この地で学んだことを忘れず、7月からは九州で小児外科医として小さな命に向き合っています。

医師 石本 健太



第 120 回健康公開講座のご案内

「こころ・ことば・からだ」と題してご講演いただきます、第120回健康公開講座。先月もご案内いたしましたが、いよいよ今月27日の開催となりました。講師の福田百合子先生は、山口県立大学の名誉教授、そして中原中也記念館の名誉館長であり、また、昭和33年に創刊され、この6月に第339号を発刊された「文芸山口」の主宰者も務めておられます。「こころ・ことば・からだ」、皆様の健やかさにつながる貴重なお話がお聞きできると思います。お誘い合わせの上、ご来場ください。



中原中也記念館 名誉館長
福田 百合子 先生

～ 2018年6月27日(水) 19:00開演 アスピラート3階 ～

七夕コンサート Jazz トリオ「そよ風」



颯爽と奏でられるクラリネット、チェロとキーボードの三色で彩る素敵なJAZZを「そよ風」にのせて皆様へお届けいたします。院内では2回目のコンサートになりますが、今回は皆様よくご存じの演奏者です。

山口大学学長をお務めになった山口大学名誉教授の加藤紘先生率いるJazz トリオ「そよ風」においていただくことになりました。彦星と織姫にとっては、悲しいかな晴れることの少ない七夕の夜空ですが、スタンダードナンバー「Tea for Two」が七夕の夜空に届くかもしれません。天の川のきらめきを心に描きながらお聞きください。曲目は「セントルイスブルース」、「Misty」、「フォーレシチリアーノ」となっております。ぜひ、皆様お越しくださいませ。

～ 2018年7月3日(火) 13:00～13:30

防府消化器病センター 1階外来ホール ～

7月から診療表が変わります

外来診療予定表

(2018年7月～)

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	松岡	三浦	三浦	松岡	三浦	交代制
	2診	藤原 9:00～	柿本 (1・3・5週)	藤原 9:00～	竹尾		交代制
	3診	竹尾	松岡	竹尾	三浦	松岡	交代制
	5診	柿本	鴨打	柿本	鴨打	鴨打	
	6診	南園	戸田 9:00～	南園		柿本	
午後		戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診

診療日時		受付時間	診療時間
平日	午前	8:00～11:00	8:30～
	午後(月・水・金)	13:30～16:30	14:00～
土曜日	午前	8:00～11:00	8:30～

- ※ 土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。
土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
担当医が不在の場合は代わりの医師にて診療を行います。



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33
TEL: 0835-22-3339 (代表)
HP: <http://www.hofu-icho.or.jp>

■交通機関のご案内

- 【電車】 JR 防府駅よりバス 2分 (防府市役所前下車)
または JR 防府駅より徒歩 10分
- 【バス】 防府市役所前下車
- 【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10分

★地域医療連携・相談室から★

地域医療連携・相談室では、地域連携や在宅医療の充実を図り、患者様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるようサポートいたします。お気軽にご相談ください。

TEL:(0835)22-3339 (代表) FAX:(0835) 25-8754 (直通) 担当: 岡屋・金子・三宅

編集後記

梅雨に入りました。しばらくは湿気にたじろぐ時季になりますが、また、紫陽花をはじめ水滴に光る自然の色彩を楽しめる季節でもあります。「金糸梅 水のひかりを ためらはず」という現代の俳人六角文夫が詠んだ句がありますが、雨の中でも不動といえましょうか、水滴をまとめて泰然と美しく咲く金糸梅の姿が目には浮かびます。この鬱陶しい季節も五感を研ぎ澄まして、元気に参りたいと思います。時節柄、ご自愛くださいませ。
事務局長 栗林 左知